

# おおてみち

第101号

平成29年(2017年)10月1日  
滋賀県立安土城考古博物館



◎大岩山出土銅鐸(昭和37年出土)(当館蔵)

## 青銅の 鐸と武器

開館25周年記念 平成29年秋季特別展

近江の弥生時代とその周辺

平成29年  
10月21日(土)  
— 12月3日(日)

●開館時間

午前9時～午後5時

※ただし、入館は午後4時30分まで

●休館日

月曜日(10月23日、30日、11月6日、13日、20日、27日)

●入館料

大人 890円(680円)

高大生 630円(460円)

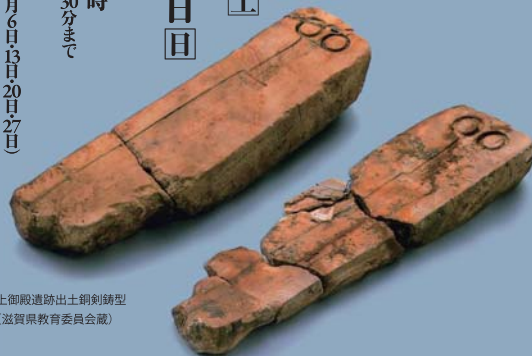
小中生 410円(310円)

県内高齢者(65歳以上) 450円(340円)

※( )は20人以上の団体料金です。

※「肩長の館」との共通券もあります。

主催：滋賀県立安土城考古博物館・文化庁



上御殿遺跡出土銅剣跡型  
(滋賀県教育委員会蔵)

## 企画展示室

開館25周年記念 平成29年秋季特別展

# 青銅の鐸と武器

—近江の弥生時代とその周辺—

野洲市大岩山遺跡出土の銅鐸群は、近江の弥生時代を特徴づける重要な要素のひとつです。また、近年では高島市上御殿遺跡で特殊な形をした銅剣の鋳型が出土して、大きな話題を集めました。

本展では、これらの青銅器や鋳造関係遺物をはじめ、県内の主要な遺跡および同時代の近畿や東海地域の関連遺物を展示することにより、近江の弥生時代の特徴について明らかにします。

## 主な展示資料

◎東奈良遺跡出土資料「銅戈鋳型、送風管」

(文化庁蔵、茨木市教育委員会保管)

◎朝日遺跡出土資料

「銅鐸、巴形銅器、銅鏃、筒形銅製品、銅鐸形土製品」

(愛知県教育委員会蔵)

◎大岩山出土銅鐸(明治14年出土)

(公益財団法人辰馬考古資料館蔵)

◎大岩山出土銅鐸(昭和37年出土)(当館蔵)

△十六遺跡出土銅鐸(岐阜県博物館蔵)

荒尾南遺跡出土資料

「銅鐸破片、巴形銅器、倭鏡、銅鏃」(岐阜県教育委員会蔵)

神足遺跡出土資料

「銅剣、磨製石剣未成品」(長岡京市教育委員会蔵)

下池田遺跡出土連鑄式銅鏃(岸和田市教育委員会蔵)

能登川石田遺跡出土資料

「銅剣、多孔銅鏃、送風管」(東近江市教育委員会蔵)

礎遺跡出土銅剣(米原市教育委員会蔵)

上御殿遺跡出土銅剣鋳型(滋賀県教育委員会蔵)

(◎は重要文化財、△は県指定重要文化財)



△十六遺跡出土銅鐸(岐阜県博物館蔵)

## 秋季特別展記念講演会

「青銅器の発達と近畿の弥生社会」

講師・森岡秀人氏(関西大学大学院非常勤講師)

日時・11月12日(日) 13時30分～15時

※当日先着順、定員一四〇名、五〇〇円

## 秋季特別展関連博物館講座

「弥生時代青銅器工人の系譜—銅鐸群と送風管—」

講師・清水邦彦氏(茨木市立文化財資料館)

日時・11月23日(木・祝) 13時30分～15時

「稲部遺跡と近江の青銅器生産」

講師・戸塚洋輔氏(彦根市教育委員会)

日時・12月3日(日) 13時30分～15時

※当日先着順、定員一四〇名、二〇〇円

## 体験博物館

「銅鐸博士になろう」

日時・11月11日(土)・12月2日(土)

各日①13時30分②15時

※各回定員15名、電話にて要申込

(各日10月11日・11月2日より受付開始)二〇〇円

## 公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 調査課安土分室

### 展示と体験でんご盛りイベント

『あの遺跡は今! Part 24』を今年も開催!

安土分室では、遺跡の発掘調査で出土した資料の室内調査を実施しています。7月22日(土)～23日(日)には調査室そのものを一般公開!ご来館の方々にフリーで入室いただく毎年恒例の特別イベントを開催しました。

展示ケースのガラス越しでしか普段は見られない出土品を間近で見ただけ、サービス精神旺盛な専門調査員の展示解説もお楽しみいただきました。ベテランスタッフによる調査作業のレクチャーでは、自慢のテクニクをライブでご披露。お客様との対話は今年も大好評でした。

小学生に一番人気だったのは、プロが伝授する調査体験。特に遺物の拓本を実際にとるコーナーでは夢中になる小学生が続出。古代の遺物の文様を、自分の手で白い画仙紙に写し出していくプロセスは、静かな感動を生むのかも。レクチャーする私たちにとって、嬉しい夏の一日でした。



## 収蔵資料紹介

シャルルヴォワ著『日本史』に収められた

### 「安土山の都市と城の景観」

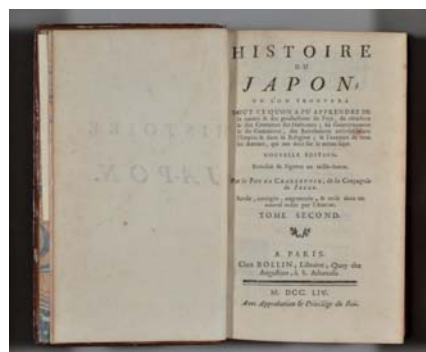
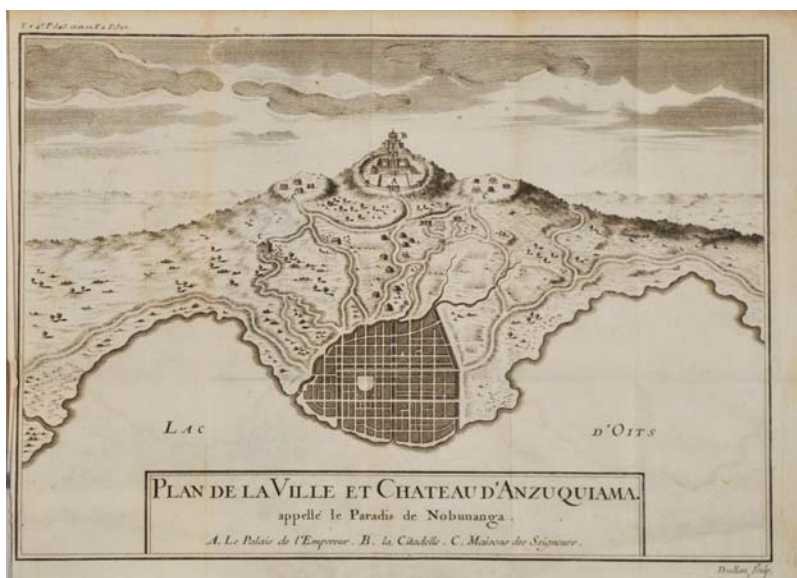
一七三六年 フランス・パリ刊  
一七・〇cm×一〇・二cm(本)  
一一・五cm×三〇・二cm(図)  
上松徹氏蔵

信長が築いた安土城が現地に復元されないのは、その正しい姿を伝える資料が、全く残っていないからです。唯一その可能性のある、信長が狩野永徳に描かせてローマ法王に贈った安土図屏風も、いまだその行方はわかりません。

その信憑性はさておき、安土城の絵画資料として以前から知られている図を載せた本が、このほど当館に寄託されました。十八世紀フランスのイエズス会宣教師で、探検家としても有名なピエール・フランソワ・ザビエル・ド・シャルルヴォワが著した『日本史』(原題 HISTOIRE du JAPON)で、そこに挟み込まれた挿図の一枚が、この図だったのです。

図自体は、軍事的要請を反映したこの時代の西洋の都市図の形式に則って、王の城塞を立面図、都市すなわち城下町を平面図で描いており、現地の情報が正確に反映されているとは、残念ながら思えません。しかし、シャルルヴォワはいったい何を根拠にこれを描いたのでしょうか。全くの想像か、どこかで屏風を目にする機会があったのか、他にも安土城の絵が出回っていたのか。様々な可能性に夢が膨らみます。

本書に掲載された図は都(京都)と安土のみ。正確な情報とはいえませんが、信長の作った安土城とその城下町が、日本を代表する城郭と町だとして、世界に認識されていたことだけは、確かでしょう。(高木叙子)



## 第二常設展示室 特別陳列

### 「歴史の中の女性(歴史資料編)」

会期：10月7日(土)～11月5日(日)

歴史時代に入り、武士の世の中が進むと、政治や戦いの場に女性の居場所が少なくなり、資料に現れる女性の活躍や姿も、制限されたものになっていきます。歴史の波に翻弄されながらも、たくましく生きていった女性の姿を、少ないながらも記録資料や物語、肖像画などから読み解き、紹介します。

#### ギャラリートーク

日時：10月29日(土) ①13時30分～ ②15時～  
ご案内：高木叙子(当館学芸員)

※参加は無料ですが、入館料が必要です。



浅井長政夫人画像(当館蔵)

## 博物館の主な催し

|         |          |  | 企<br>展<br>示<br>室   | 画<br>室 | 第2<br>常<br>設<br>展<br>示<br>室                   | 望<br>楼<br>下  |
|---------|----------|--|--|--------|---|--|
| 10<br>月 | 15日(日)   | <b>よし笛コンサート</b><br>14時～15時【当日受付(先着70名)・無料】会場:当館エントランスホール                                 | 「青銅の鐸と武器—近江の弥生時代とその周辺—」<br>開館25周年記念 平成29年秋季特別展<br>10月21日(土)～12月3日(日) |        | 「歴史の中の女性(歴史資料編)」<br>特別陳列<br>10月7日(土)～11月5日(日) |  |
|         | 29日(日)   | <b>特別陳列「歴史の中の女性(歴史資料編)」ギャラリートーク</b><br>講師:当館学芸員 ①13時30分～②15時～<br>※参加は無料ですが、入館料が必要です。     |  |        |   |  |
| 11<br>月 | 1日(水)    | <b>連続講座 I ① 開館25周年記念リレー講座「織田信長研究の25年」</b><br>講師:高木叙子(当館学芸員) 13時30分～15時【200円】             |  |        |   |  |
|         | 11日(土)   | <b>体験博物館①「銅鐸博士になろう」</b><br>①13時30分～②15時～【要申込(定員各15名)・200円】<br>※開催日の1か月前から受付              |  |        |   |  |
|         | 12日(日)   | <b>秋季特別展記念講演会「青銅器の発達と近畿の弥生社会」</b><br>講師:森岡秀人氏(関西大学大学院非常勤講師) 13時30分～15時【500円】             |  |        |   |  |
|         | 15日(水)   | <b>連続講座 I ② 開館25周年記念リレー講座「安土城調査研究の25年」</b><br>講師:松下浩氏(滋賀県教育委員会) 13時30分～15時【200円】         |  |        |   |  |
|         | 23日(木・祝) | <b>秋季特別展関連博物館講座「弥生時代青銅器工人の系譜—銅鐸群と送風管—」</b><br>講師:清水邦彦氏(茨木市立文化財資料館) 13時30分～15時【200円】      |  |        |   |  |
|         | 26日(日)   | <b>秋のお茶会</b><br>10時～15時【当日受付(先着100名)・300円】会場:当館エントランスホール                                 |  |        |   |  |
|         | 29日(水)   | <b>連続講座 I ③ 開館25周年記念リレー講座「近江の縄文時代研究の25年」</b><br>講師:瀬口眞司((公財)滋賀県文化財保護協会) 13時30分～15時【200円】 |  |        |   |  |
| 12<br>月 | 2日(土)    | <b>体験博物館②「銅鐸博士になろう」</b><br>①13時30分～②15時～【要申込(定員各15名)・200円】<br>※開催日の1か月前から受付              |  |        |   |  |
|         | 3日(日)    | <b>秋季特別展関連博物館講座「稲部遺跡と近江の青銅器生産」</b><br>講師:戸塚洋輔氏(彦根市教育委員会) 13時30分～15時【200円】                |  |        |   |  |
|         | 9日(土)    | <b>特別陳列「古墳時代の刀剣と刀装具」ギャラリートーク</b><br>講師:当館学芸員 ①13時30分～②15時～<br>※参加は無料ですが、入館料が必要です。        |  |        |   |  |
|         | 16日(土)   | <b>連続講座 II ① 関西の城を知ろう「若狭武田氏の居城 後瀬山城跡」</b><br>講師:西島伸彦氏(小浜市教育委員会) 13時30分～15時【200円】         |  |        |   |  |
|         | 17日(日)   | <b>お正月飾りを作ろう</b><br>①13時30分～②14時15分～【要予約(定員各10名)・300円】<br>※開催日の1か月前から受付 会場:当館エントランスホール   |  |        |   |  |
|         |          |  |  |        | 11月7日(火)～12月10日(日)<br>特別陳列<br>「古墳時代の刀剣と刀装具」   | 12月12日(火)～平成30年2月12日(月・祝)<br>特別陳列<br>「トリからイヌへ—干支の文化財—」 |

※講座の会場はすべて当館セミナールームです。※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

おおてみち 第101号  
平成29年(2017年)10月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館  
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL.0748-46-2424  
E-mail: gakupei@azuchi-museum.or.jp URL: http://www.azuchi-museum.or.jp